

第55回 ジャンボリー・オン・ジ・エア 実施要項

平成24年3月19日(月)現在の情報です。

名 称： 第55回ジャンボリー・オン・ジ・エア (略称 J O T A)



目 的：・世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線行事に参加し、電波を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的とする。
・免許を持たないスカウトは、参加局の交信を聴取し、各地や各国のスカウト活動を理解する。
・この行事を機会として、関連するチャレンジ章、ターゲットバッジ、技能章の取得を目指す。

日 時： 平成24年10月20日(土)00:00～21日(日)24:00 48時間(予定)
(世界各国とも、それぞれの標準時間で実施する)

参加方法：・スカウト関係者であれば、誰でも参加することができる。
・班・隊・団・地区・県連盟で、それぞれのプログラムとして実施し、また、個人・任意のグループ(クラブ局等)として参加するなど、形態は問わない。
・参加(聴取も含む)したスカウト関係者は所定の様式(日本連盟のホームページからダウンロード)による報告書を提出する。

1. アマチュア無線の免許を所有する者

・国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、互いの氏名・所属団・住所・活動状況等を話し合い、記録する。

2. アマチュア無線の免許を持たない者

・日本では、免許を持たない者の交信は、電波法で禁止されているため、参加局の交信を聴取することによる参加とする。
・所属する隊・団・地区・県連盟でプログラムとして実施される場合は、これに参加する。
・周辺で実施されない場合は、一般のアマチュア無線局の協力を得て参加する。
・行事終了後は、協力者の氏名、住所、局名を記載し、所定の様式の報告書を提出する。

運用方法：・世界スカウト周波数に定められている下記の周波数、またはその前後の周波数において、スカウト仲間を呼び出すか、応答し交信相手を決める。
・相手局が決まったら、他の周波数に移り交信を開始する。ただし、周波数帯によっては、混信のため移れない状態のこともある。
・使用できる周波数と電波形式は、周波数帯ごとに電波法で細かく定められています。
・日本アマチュア無線連盟の定める各周波数帯の「アマチュア無線バンド使用区別」に従う。

[世界スカウト周波数]

周波数帯	電話 (SSB)	電信 (CW)	日本国内での周波数
3.5MHz 帯	3.690MHz & 3.940MHz	3.570MHz	3.545MHz
3.5MHz 帯の周波数帯は、日本では割り当てられていない。			
7MHz 帯	7.090MHz (& 7.190MHz)	7.030MHz	7.090MHz
14MHz 帯	14.290MHz	14.060MHz	14.290MHz
18MHz 帯	18.140MHz	18.080MHz	18.140MHz
21MHz 帯	21.360MHz	21.140MHz	21.360MHz
24MHz 帯	24.960MHz	24.910MHz	24.960MHz
28MHz 帯	28.390MHz	28.180MHz	28.390MHz
50MHz 帯	50.160MHz	50.160MHz	

エコーリンク(インターネットを使ったシステム)でも運用されます。

日本国内では、次の周波数がよく使用されます。

周波数帯	電話 (S S B)	電話 (F M)
50MHz 帯	50.250MHz	指定なし
144MHz 帯	144.250MHz 144.340MHz	指定なし
430MHz 帯		433.340MHz

(上記の周波数については、地域によって異なる。F Mは、スカウト周波数および前後 20KHz きざみの周波数を利用する。)

- ・スカウト周波数は、ボーイスカウトの独占周波数ではないので、使用する際には、その周波数が使われていないかどうかよく聞き、他の局に迷惑をかけない様に心掛ける。また、他のアマチュア無線局の理解と協力が得られるように正しい運用マナーに努めて運用する。
- ・スカウト周波数だけに固定せずに前後の周波数も有効に使用する。
- ・一般アマチュア無線局とも積極的に交信し、J O T Aおよびスカウト運動について理解を深めてもらうようにする。

テーマについて：今年度のJ O T Aのテーマは、今夏を目前に、世界スカウト機構 (W O S M) のホームページで発表される予定。発表後、日本連盟のホームページでも公開します。

世界スカウト機構ホームページ：<http://www.scout.org/>

B S 日本連盟ホームページ：<http://www.scout.or.jp/>

- 参加規定：
1. 参加局は、免許を受けている出力・周波数・電波型式の範囲内で運用する。
 2. 電波法その他諸規則を厳格に守り、日本アマチュア無線連盟の定める各周波数帯のアマチュア無線バンド使用区別に従う。
 3. 呼び出しは次の要領により、これに対し応答する。
電話 (S S B) C Q ジャンボリー 電信 (C W) C Q J A M
 4. 世界スカウト周波数は、原則として呼び出しだけに利用する。

参加報告： この行事に参加した隊・団・地区などは、**11月9日(金)まで**に、日本連盟宛に以下の3点を提出する。報告書提出者には、世界スカウト機構発行の参加証を参加人数分(運用者と聴取者の合計数)送付する。(下記の2.および3.の提出の無い者には、参加証は送付されない。)

1. 参加報告書 (添付様式に記入)
 2. 返信用封筒 (世界スカウト機構発行の参加証が入る大きさのものに宛先を必ず記載のこと)
 3. 返信用切手 (参加証の枚数と重さを考え、相当額の切手を封筒に添付する)
- 日本連盟は、参加報告書を取りまとめ、世界スカウト事務局へ参加状況の報告をする。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・アマチュア無線局免許 (コールサイン) 切れに注意！ 再免許申請を忘れずに！・アマチュア無線局の無線設備の操作は、無線従事者の資格者でなければ行うことは出来ません。・参加報告書の提出に際し、返信用の封筒が小さい、また切手貼付金額 (重量) 不足が増えていきます。このような場合は「参加証」の送付ができませんので、ご注意ください。 |
|---|

第16回 ジャンボリー・オン・ジ・インターネット実施要項

平成24年3月19日(月)現在の情報です。



- はじめに：・「ジャンボリー・オン・ジ・インターネット（JOTI）」とは、世界スカウト機構が主催して行う比較的新しい、世界のスカウトの公式国際行事です。
- ・今年で55回目を迎える「JOTA」は、アマチュア無線をコミュニケーションツールとして利用したのですが、この「JOTI」は無線の代わりに、インターネットを利用して、JOTAと同じく、情報を交換して友好を深めようとするものです。
 - ・1996年に試験的に開催され、翌97年、世界スカウト委員会により、世界スカウト機構の公式国際行事として、JOTAと同時開催することが決定され、今年で16年目、JOTAとJOTIあわせて毎年50万人が参加しています。

- 名 称： 第16回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット（略称 JOTI）
- 目 的：・世界スカウト機構が提唱する世界的なスカウトのインターネットを利用した行事に参加し、インターネットを通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深める。
- ・この行事を機会として、関連するチャレンジ章、ターゲットバッジ、技能章の取得を目指す。

日 時： 平成24年10月20日(土)00:00～21日(日)24:00 48時間(予定)
(それぞれの標準時間で実施する)

- 参加方法：・スカウト関係者であれば、誰でも参加することができる。
- ・班・隊・団・地区・県連盟で、それぞれのプログラムとして実施したり、個人・任意のグループとして参加するなど、形態は問わない。
 - ・免許等の特別な資格はらない。但し、インターネットに接続し情報交換を行える施設設備が必要となる。設備を持たない者は、施設を持つ者の協力を得て、実際に参加してみることを奨励する。
 - ・行事終了後は、これらの記録をとりまとめ、所定の様式(日本連盟のホームページからダウンロード)による報告書を提出する。

テーマについて：今年度のJOTIのテーマは、今夏を目途に、世界スカウト機構(WOSM)のホームページで発表される予定。発表後、日本連盟のホームページでも公開します。

世界スカウト機構ホームページ：<http://www.scout.org/>

BS日本連盟ホームページ：<http://www.scout.or.jp/>

参加規定・参加報告等：

- ・参加規定や報告等に関する項目は、以下のホームページに接続し、検索して確認することができる。(報告書の提出は、Eメールでも郵送でも受け付ける。詳細はホームページを参照のこと。報告書提出締切日：11月9日(金)必着)
- ・JOTI参加の第一歩として、以下のホームページアドレスへの、接続・検索を自分の手で行ってみたいことを奨励する。
関連インターネットアドレス：
JOTIスターターページ <http://www.joti.org>
BS日本連盟ホームページ <http://www.scout.or.jp/>
世界スカウト機構ホームページ <http://www.scout.org/>
- ・報告書提出者のうち、希望する者には世界スカウト機構発行の参加証を参加人数分(運用者と参加スカウトの合計数)送付する。
- ・この場合は、報告書と一緒にカード希望枚数相当重量の切手を貼った宛名記載の返信用封筒を日本連盟に郵送のこと。
- ・日本連盟は、参加報告書を取りまとめ、世界スカウト事務局へ参加状況の報告をする。

以上